



夏休みと日中交流

梅雨が明けたというのにすっきりしない日々が続
き、気が付けば八月も後半になってしまいましたが、
いかがお過ごしでしょうか。

昨年も申し上げたことではありますが、夏休みは交
流の時期でもあり、当財団からも例年通り 8 名の高校
生を江蘇農林職業学院を含む 7 泊 8 日の中国研修へ派
遣をいたしました。

江蘇農林職業学院と聞いて、お気づきの方もいらっ
しゃるかと思いますが、先日の納涼親睦会に参加して
くださった学校で、今回は派遣と受け入れの相互交流
をすることができました。

派遣生の帰国に合わせて空港まで出迎えに参りま
したが、到着ロビーに出てきてからも名残惜しげに写
真を撮ったり涙を流したりと、現地に同行したわけ
ではありませんが、大変充実した研修旅行であったこと
が容易に想像できました。今後とも派遣した 8 人と現
地で出会った人々との人間関係が続いていくことを
願っております。

また、昨年は 1 組だけでしたが、今年は少年野球の

合宿が 2 組ありました。四川省と広東省の少年野球メン
バーたちで、決して上手ではありませんが、とても楽し
く過ごすことができました。ただ、8 月に来た 2 組目の
チームに関しては、雨（台風 5 号）のため、あまり交流
できなかったことが心残りです。

野球に来た彼らの話を聞いてみると、中国の少年は改
めて大変だと思うとともに、少しかわいそうになりまし
た。野球以外にも水泳、塾、英会話教室など、休みの日
などはなく、日本に来ている期間が本当に楽しいと言っ
ていました。彼らにとって良い夏休みの思い出になった
ことを願っております。

個々の交流は小さいことかもしれませんが、このよう
な取り組みを続けて行くことが、未来に繋がっていくと
信じて、今後とも微力を尽くしてまいりたいと改めて思
いました。

今後とも是非ご協力を賜れればと思いますので、どう
ぞよろしくお願い致します。

上山伸治

月例会報告

8 月 8 日の例会は、新栄の「延辺館」にて毎年恒例の納涼親睦会を行いました。



今月は、2 月の春
節祝賀会に続いて 2
度目の延辺館での食
事会となりました。
料理は好評で、馴染
みのある留学生もア
ルバイトをしている
ことから、今後も利
用する機会が多くあ
りそうです。



と 22 名の学生が参加して
くれました。

江蘇農林職業学院の学生
たちは 20 歳くらいで、日本
語はほとんど分からない子
たちだったのですが、英語
や筆談を駆使して、熱心
にコミュニケーションを取っ
ていました。

料理は麻婆豆腐や炒飯、
前回話題になった酱脊骨の
他にも、カニや豚の軟骨の
スープなど種類も豊富で、
本格中国料理店ならではの
味を、心行くまで楽しむこ
うことができました。



今回は、駐名古屋
中国総領事館からは
領事の申宇さんが参
加してくださいまし
た。また、中国江蘇
省の江蘇農林職業学
院から、巫建新先生

実家のお店

桂林市の中心は大都会で、大型の百貨店や、マクドナルド、ケンタッキー、スターバックス等もありましたが、実家のある全州県は都会と言っても小さな店が多く、駄菓子屋のようなお店や、青空市場のようなエリアが主な買い物先でした。

駄菓子屋のようなお店には、お酒やおやつのようなものが置いてありました。中でもヒマワリやスイカの種は大量にあり、試食させてくれ

るため、お客さんもお店の人もポリポリ食べながら道端にポイポイ殻を捨てていました。

市場には肉や野菜・果物の他に、魚や鶏・鴨が生きたまま売られていました。鴨を買うと、足を縛って網袋に入れた状態で渡されるのですが、観念したのか、とても大人しくしていました。

とある一角には、ウサギや子猫、子犬が売られており、ペットだと思

って眺めていたのですが、すべて食用だと聞いて驚きました。

実家で食べていて一番美味しかったのは、パイナップルです。日本で食べたことがないくらい、とても汁気が多く甘いと感じました。とげのような部分を螺旋状に切り取り、割り箸を刺したものを、道端で買って食べることもできます。これはこれで中々の贅沢です。



成語故事コーナー

lǎo mǎ shí tú

老马识途 (年の功)

古代戦国時代、斉の国王・桓公は宰相の管仲と共に、自ら兵を率いて隣国に攻め込みました。戦いは長期に渡り、出兵するときは春だったのに、帰国するときは冬になっていました。

国へ帰る途中、彼らは山中で迷子になってしまいました。来るときに方角を確認するための目印としていた草木は、季節の変化とともに分からなくなってしまったのです。

齊軍は山中を何日もぐるぐる回るところで、歴史を見てみると彼らは春秋時代に活躍した英雄たちです。斉の国は今の山東省あた

ったのですが、入り口まで戻ってしまい、いつになっても帰ることができません。このままでは食料も尽き、みんな倒れてしまいます。

そのとき、宰相の管仲は考えました。もしかすると、年老いた馬であれば本国への道が分かるのではな

いか？そして、桓公に進言しました。「年老いた馬ならば帰り道が分かるかもしれません。我々は既に迷子になっています。ここは一つ、試し

りの国で、太公望から始まり、桓公は16代目の君主でした。今回の遠征は北の燕国の救援と孤竹国討伐のため、紀元前664年～

てみてはいかがでしょうか。」

桓公も困り果てていて、他に方法も思い付かなかったので試すよう命じます。そこで、管仲は年老いた馬を数匹選び先に行かせ、齊軍はその後について行くことにしました。

すると、年老いた馬たちは喜んでどんどん先へと進み、後をついて行った齊軍は無事に山を越えることができたのでした。



663年ごろの出来事のように。この時代には沢山の英雄と沢山の成語故事が生まれているので、色々調べてみるのも楽しいですね。

漢方教室 80 ミドリムシと酵素のパワー

【ミドリムシとは？】

ミドリムシは、名前にムシと付きますが虫ではなく藻(も)の一種です。動物性と植物性の両方の栄養素を持っておりアミノ酸18種類、不飽和脂肪酸13種類の動物性栄養素と、ビタミン13種類、ミネラル10種類の植物性栄養素、さらにミドリムシ特有成分である免疫向上成分のパラミロン(β-グルカン)などの5種類の特殊成分をバランスよく含有し、完全栄養素とも呼ばれています。

【ミドリムシの独自成分、パラミロン】

ミドリムシに含まれているパラミロンは、ほかの生物では得られない、

ミドリムシ特有の成分です。パラミロンの表面には無数の細かい穴が開いており、ミドリムシが光合成で作った糖質をそこに吸収すると考えられています。その特徴を利用して、パラミロンを人の体内に取り込むと、その細かい穴に体内の不要な物質(中性脂肪など)を吸収する性質があるといわれています。

【酵素】

酵素は、生命活動をしている物には必ずある物質で、ほぼ「タンパク質」からできています。酵素は食べ物の消化を始め、皮膚の新



陳代謝、血液の循環など体のあらゆる働きに関わっています。酵素が不足すると、すぐに体調に現れない、消化不良、肌の不調なども酵素不足が原因の可能性がります。

日本安恵の『ミドリ酵素』は、ミドリムシだけが持つ特有成分パラミロンのほか酵素、酵母、有胞子乳酸菌、黒酢粉末など配合したサプリメントです。興味のある方は、フリーダイヤル0120-045-539まで。中統ビル3階 日本安恵株式会社



中国からの引き揚げ—思い出すがままに③

父が拘禁されてからの生活は、母一人で5人の子どもを抱え、竹の子生活をおくることになります。家にある着物、家財、生活道具などを家の前の路上に並べ、それらを売ってはわずかな現金を手にして、食料品を買っていました。食糧事情は内地（日本本土）とは違って、お金さえ出せば、大抵のものは手に入りました。丹東にいる間は、食料に困ったという記憶はありません。

治安は、日増しに悪くなり、日が暮れると街中で銃声が響くようになりました。外出は怖くてできなくなりました。そんな時、恐ろしいことが起こりました。

ある秋の夜、ソ連兵が押し入って来たのです。終戦後は、夜になると、1階の店の出入り口は、外からは入れないように、空き箱を積み上げ、バリケードにしてあったのです。

しかし、ソ連兵が、ついて来た群衆に、バリケード

撤去を命じたのです。家の中には、たまたま来ていた満鉄の男性社員一人と母親、子ども5人がいました。満鉄の社員さんは、女、子どもは危険だから、私に対応している間に隣りの家に逃げなさいといってくれたので、屋根伝いに逃げました。うまく逃げおおせることができましたが、隣りの家の屋根の上でふるえながら、ソ連兵が立ち去るのをじっと待っていました。

ソ連兵が去ってから、家にもどり、満鉄の社員さんから様子を聞きました。ソ連兵は、弾倉が、円柱になっている自動小銃（通称マンドリン銃）を構え、時計を出せと脅したそうです。知らないと言うと、勝手にたんす、洋服ダンス、引き出しをひっくり返し、家にある腕時計、ストップウォッチを全部持って行ってしまいました。略奪した腕時計はすべて腕に巻き付け、群衆に見せびらかせていました。

杉本 克治

8月誕生日の人の言葉

昭和20年8月7日、7歳の誕生日は疎開先でした。でもそのころ歳を取るのは正月でしたから 誕生日祝などしてもらった記憶はありません。

ただ広島に 昨日爆弾のすごいのが落ちたようだ

と大人たちが言っていたのは覚えています。その後一週間で戦争が終わりました。

石川 知子



「世界の瓷都・景德鎮陶瓷大学」

江西省・景德鎮市に中国でただ一つ「陶瓷」という名称を冠に掲げた国立大が存在する。中国国内には8校の有名美術大学があるが、難関校一番は清華大学美術学院であり、二番は景德鎮陶瓷大学である。清華大学美術学院には陶芸専攻はなく陶磁器デザインである。陶瓷大学は創立106年という伝統校であり、学部は8学部あり今や総合大学である。学生数13671人。大学院（修士・博士課程）1013人。留学生の国別としては13カ国となる。

多いのは隣国・韓国であり、国家元首の習近平の主張する一路一帯思想で最近ではアフリカ諸国の留学生が目立って増加している。大学の専任教員数は802人。教授200人。外国人教授は私一人であった。日本でいう人間国宝は26人。海外の大学との交流や姉妹校提携も多い。

新しい学部としては体育学部・外語学部がある。市内中心部にある老校舎と少し離れている本部棟中心の新校舎に分離されている。老校舎

では創立時の瀟洒な赤レンガの建物が補修されて今も現役として使われている。美術学部においては陶芸・陶磁器設計（デザイン）・彫塑・環境陶芸・室内設計。工程系（化学部門）・材料専攻（粘土・釉薬・調剤・分析）。工業系。法商系。動漫（アニメ）専攻も存在する。まさに総合大学の感がある。特に陶芸専攻では多くの卒業生が中国全土におり、陶芸家・企業経営者となっており就職率今年も90パーセントと聞く。新設学部は苦戦のようだが、全国から憧れて受験する大学であり学生達は地元の方言では会話は難しいが高等教育を受けてきた者は普通話（北京語）での会話となる。

中国の大学は全部基本学生寮の共同生活となっている。広大な敷地の中で生活できる機能がある。夏休み・冬休みには学割適用の鉄道帰省となる。南は貴州省・海南省。北は吉林省・遼寧省とほぼ鉄道便で2・3日の乗車となる。中国

は広大である。入学直後には「9月新学期」約1カ月軍事教練が課されている。見学者を最近散見するのは男子が多いのは一人っ子政策の影響かどうかわからない。昨年国として一人っ子政策は終焉を見ているが、まだまだ教育費高騰にて複数の育成には富裕層のみの恩恵となっている。

昨年には外国人対応部署として国際学院という独立機関も設置されて、今後益々国際交流事業を推進する様相である。校内では国際シンポジウムが毎月のように展開されている。陶瓷大学の国際化は今後様々な形で運用推進されていく気がする。



会員 景德鎮陶瓷大学元教授 二十歩 文雄

お知らせ

★9月例会

日時：9月5日（火）18：00～

講師：鄧偉総領事

★JCCA 中国語サロン

日時：9月2日（土）16日（土）14：30～

★日本語広場

スピーチ大会のため日本語広場はお休みです

★上山学院日本語学校スピーチ大会

日時：9月11日（月）12日（火）

8：40～14：30（表彰式はありません）

★10月例会

日時：10月3日（火）18：00～

講師：高田拓先生

★11月例会

日時：11月7日（火）18：00～

上山学院日本語学校からのお知らせ

毎年2回行われている上山学院日本語学校のスピーチ大会ですが、今学期は9月11日と12日に行われます。学生の数も段々と増えてきて、今回は100名近くの学生たちがスピーチを行うことになっているため、時間内に収まらないかもしれません。時間の都合上、翌日の13日の午後に表彰式のみ執り行われます。

上山学院日本語学校のスピーチ大会は学力試験を兼ねているため、学生の日本語力に応じて「私の家族」「子どものときの夢」といった簡単なものから、「成長するとともに変わったこと」「社会の変化とともに失われつつあるもの」のような少し難しいテーマを用意し、学生が自分で選択することになっています。まだまだ未熟ではありますが、勉強中の日本語を駆使して一生懸命スピーチしますので、是非聞きに来てあげてください！



9月例会

日中国交正常化45周年記念講演

日時：9月5日（火）

18：00～ 中国語で話そう会

19：10～ 日中国交正常化45周年記念講演

講師：鄧偉総領事

19：55～ 茶菓での交流会

会場：中統奨学館ビル 4階

9月の例会では、駐名古屋中華人民共和国総領事館より鄧偉総領事をお招きして、「日中国交正常化45周年記念講演」を行います。日中国交正常化の歴史と今後の展望についてお話いただけますので、是非ご参加ください。



中国人名小辞典 盤古から章子怡まで

「諺で考える日本人と中国人 日本の諺にならなかつた中国の諺」「随筆 日中諺・成語辞典一開巻有益一」に続いて、内田稔先生の著書「中国人名小辞典 盤古から章子怡まで」が発行されました。

中国には「五百年前是一家」の諺のように、同姓であれば先祖は同じという思想があり、中国人にとって姓はとても大切なものです。そのため、相手と同じ姓の偉人を挙げると、とても喜んでもらえるそうです。

本書では、内田先生自身の成功や失敗の体験を交えながら、中国人の姓について勉強できます。

編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mailアドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEBサイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp宛にご送付ください。ニューズレターは、WEBサイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-29 中統奨学館

TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036

一般社団法人日中文化協会

編集長 上山耕治